

2022年度の授業実施に向けたFD

2022/4/7（木）16:00～ A503教室,Zoom

授業サポートプロジェクトチーム

目次

- 1 .授業欠席者への情報保障
- 2 .ハイフレックス型授業について
- 3 .動画撮影について
- 4 .授業サポート申し込みについて

授業欠席者への情報保障

情報保障の基本的な考え方

- 合理的理由により欠席した学生に授業の情報を提供
 - 感染した，濃厚接触者になった等（対面授業）
 - 通信障害等（非対面授業）
- 「情報保障」の具体的な範囲や方法は科目担当者の判断
 - 各科目・各授業回の学習目標への到達度を考慮し、単位修得のための学習が可能となるようにする
 - 例) プリント1枚をPDFで送るだけで、本当に学生は学習が可能でしょうか？
 - 欠席が単位修得上の不利益にならないようにする
- 情報保障の手続きはあらかじめ学生に示しておく

対面授業の欠席者への情報保障

- 目的：体調に異変を感じた際に、無理に登校させないため
 - 対面授業の欠席が単位修得上の不利益に直結しないことを学生に周知
- 情報保障が必要だと考えられる場合の例
 - 体調に異変を感じたため登校を見送った
 - 濃厚接触者となっしまい2週間の登校禁止となった
- とくに感染拡大時期に見られる例
 - 両親が医療従事者、介護職従事者であるため登校を控えたい
 - 感染するリスクを避けるため、遠隔で授業を受講したい
- 欠席者全員に情報保障が必要？→次のスライド参照

ズル休みする学生も情報保障するのか？

- 悪用例

- 1 講目は電車が混むので感染リスクを避けるために遠隔を希望する
(早起きを回避したいだけ)
- 大学に登校するのが面倒なので体調不良を理由に遠隔を希望する

- 重要なことは「感染拡大防止の観点から休まざるを得ない」学生を救うこと

- 本当に体調が悪い時に、安心して休める環境を整える方が重要
- ズル休みした学生はひとまず考えないでおく

- 「感染予防上の合理的な理由」かどうかは授業担当者が判断

- しかし実際には難しいので、あらかじめ手続きを示しておき、それに従った場合は情報保障を行うことにする

欠席者と成績が同じでいいの？

- 大原則
 - 成績評価は学習目標への到達度などから科目担当者が判断する
 - 出席点は成績評価には含めない（テストの受験資格などはOK）
- 出席した学生と欠席学生の扱いは「平等」でなくとも良い
 - 欠席は欠席として扱うなど
- 成績評価の基準をあらかじめ示し、学生が評価に納得できるように
- これまでも強制的に自宅待機になることはあった（インフルエンザや実習等）
 - だからこそ「手続き」を明示し、手続きに従ったらこうなると示す

情報保障時の基本理念

- 対面授業の出欠に関わらず、シラバスに記載された「到達目標」を達成できるようにする
 - 科目全体の目標と、その授業回（複数回をまとめる場合もある）の目標を明確にする
 - 授業目標の達成を確認できる評価方法を設定する（小テスト、レポート、アンケートなど）
- 授業目標を達成するためには、欠席者にどのような情報を提供すれば良いかを考える
 - 授業の録画、オンデマンドで見られる映像資料、追加の文献、追加の課題など
 - 対面授業に参加した学生と全く同じ情報の提供が必要なわけではない

具体的な情報保障のパターン

- A. 対面授業と同様の教育効果が得られる課題を実施
 - △課題の設定方法にある程度工夫が必要だが効果は得られる
 - ×学生の負担が大きい
- B. 対面授業と同様のオンデマンド教材を作成
 - ○教育効果が大きい
 - ×教員の負担は大きい
- C. 対面授業を録画してmoodle等で配信
 - ○講義系科目には適している
 - ×録画時にコツや支援が必要（板書，音声）
- D. 対面授業と遠隔授業を同時に実施（ハイフレックス型授業）
 - ○講義系科目、ゼミなどもやりやすい。学生がその場で質問しやすい
 - ×授業設計や使用する機器を考慮する必要がある

CやDあたりがおすすめ

C) 録画時の注意

- 音声が一番重要：はっきり聞こえるように録音する
 - 教員の音声は外部マイクがほぼ必須
 - 学生の発言の録音はかなり困難（ゼミなら誰かが文字で記録する方が確実）
- 板書は（画角によっては）分かりづらい
 - 文字の大きさなどを考えて板書
- 資料（映画等）など、録画して公開すると著作権上の問題が起こる場合がある
- 講義形式の場合はzoomで録画すると楽

D) ハイフレックス型授業 (Hybrid Flexible, or HyFlex)

- 同じ内容の授業を，対面とオンラインで同時に行う授業方法
- 対面と遠隔で受講内容にそれほど差がない
- ゼミなど学習者のやりとりがある場合に有用
- その他のハイブリッド型授業（情報保障には向いていない）
 - ブレンド型
 - 対面回とオンライン回を教育効果を考えて組み合わせる授業方法
 - 分散型
 - 同じ回に異なる内容の授業を対面とオンラインで行い，学生は分散して受講する授業方法
 - 対面授業を全員に行う必要があるが人数制限が必要な場合に，授業回数を増やすことなく実施可能

ハイフレックス型の注意点

- クラスの人数や授業目的に応じ，教室マイクやスピーカマイク，ヘッドセットの利用について検討する必要がある
 - 音声のハウリングなどが起こらないか，事前にチェック
- 遠隔で参加している学生の存在を忘れがち
 - 板書が見えるかどうか
 - 対面出席者の「声」が遠隔の学生に伝わっているか
 - Zoomで画面共有したものを教室内のプロジェクタで投影すると良い
 - 遠隔での受講者が映っている画面を確認するために別にPCやタブレットなどを準備すると良い

非対面授業の欠席者への情報保障

- 情報保障・配慮が必要な場合の例（特に同時双方向型）
 - 対面授業の直後で、授業の準備(場所の確保、パソコンやソフトの起動)に時間を要した。
 - 前の時間が時間通りに終了していても、授業開始に間に合わない場合もある
 - パソコンや自宅ネットワークの調子が悪く、スムーズに接続できなかった
 - Moodleなどのサーバにトラブルがあり、期間内に受講できなかった
- 情報保障のパターン
 - A) 授業動画（zoom）の録画の提供
 - B) 授業と同様の課題を課す
 - C) オンデマンド教材を作成して提供
 - D) 課題の提出締め切り時間を延長する（オンデマンド授業）
- 基本的な考え方は、対面授業の情報保障と同様

ハイフレックス型授業について



- ハイフレックス型授業における非推奨環境
- ハイフレックス型授業における推奨環境
 - A. 教卓のミニプラグ（3極）を使用する方法
 - B. スピーカーフォンを使用する方法
 - C. Zoomと黒板の併用

ハイフレックス型授業
における
非推奨環境



非推奨環境：ノートパソコンのみを使用する環境



ノートPCのみ配信は、音声が非常に小さくなる可能性が高いです。

教室マイクを使用する場合には、音声は教室スピーカーから流れます。このスピーカーの音はパソコン内蔵のマイクでは上手く拾わないことがあります。

ハイフレックス型授業
における推奨環境



推奨環境 (A)
教卓にあるミニプラグ (3極)
を利用する場合



1. 教卓にあるミニプラグ (3極) をパソコンに接続します。
2. マイクで話した音声をZoomからクリアに届けることが可能です。

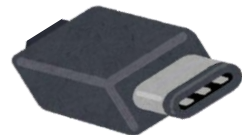
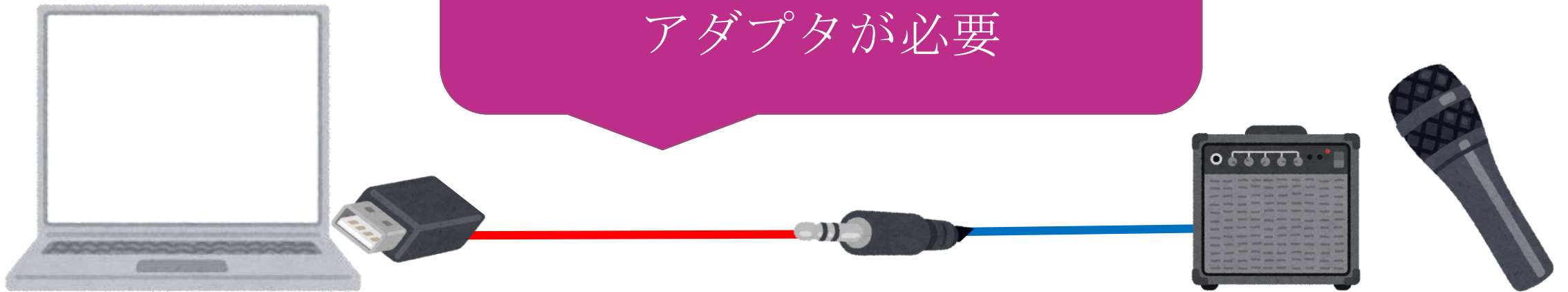
	スライド使用		黒板使用	
	講義形式	ゼミ形式	講義形式	ゼミ形式
小規模教室	◎	×	△	×
中規模教室	◎	×	△	×
大規模教室	◎	×	△	×

※教室マイクを使用した講義形式の授業に最適です。

※黒板使用の場合、映像は十分ではありませんが、音声はクリアに配信することができます。(推奨環境CでZoomと黒板を併用する場合について紹介します。)

推奨環境 (A) : 接続図

教卓にあるミニプラグ (3極)
をUSBに変換する
アダプタが必要



ノートPCにUSB(Type-C)の端子しかない場合には、USBからType-Cに変換するアダプタが追加で必要となる

推奨環境 (A)

: ノートPCの他に必要な機材

1. USB オーディオ変換アダプタ

- ・ 教育支援課あるいは授業サポートプロジェクトチームで貸し出しが可能です。



ピンク=マイク

グリーン=スピーカー

推奨環境 (A)

: 教卓のどこにミニプラグ (3極) ケーブルがあるのか?



A館/B館

教卓横の四角いポケット
内に格納されています。

C館

教卓テーブル上
にあります。



推奨環境 (A)

: 実際の接続例



ピンクのマイクジャックに差し込む



推奨環境（A）：Zoomの設定



マイクは
外付けUSBオーディオデバイスを選択

スピーカーは、
「システムと同じ」を選択

音声トラブル時の確認事項

音を出す (マイク)	
A	教室の教員 (学生) の音声
B	教員のパソコンの音 (動画視聴など)
C	Zoomの学生からの音声
※	教卓DVDはPCによる画面共有できないため除外

音を聞く (スピーカー)	
a	教室
b	Zoom

音の入出力		追加作業
Aとa	: 教室の音声を教室で聞く	通常通り (特別な作業なし)
Aとb	: 教室の音声をZoomで聞く	<ul style="list-style-type: none"> 3極ミニプラグとUSB変換アダプタを使う。 Zoomの設定はマイクを「USB Audio Device」に変更する
Bとa	: 教員PCの音を教室で聞く	PCのシステム音声出力をPC本体にする
Bとb	: 教員PCの音をZoomで聞く	Zoom画面共有時に「音声を共有」にチェックをする
Cとa	: Zoomの学生の音声を教室で聞く	「Bとa」と同じ
Cとb	: Zoomの学生の音声を教員PCで聞く	Zoomのスピーカーの設定を「内蔵スピーカー」にする

Bとa（教員PCの音を教室で聞く）場合のPCの設定例



① コントロールパネルより「システムサウンドの変更」を選択

② USBオーディオ変換アダプタを接続している場合には、スピーカーは「USBオーディオデバイス」が自動的に選択されている。そのため、「内蔵スピーカー」を選択し「既定値設定」を選択する必要がある。

ミニプラグ（3極）が設置されている教室

	A館	B館	C館
大教室	A305,A403,A503,A603	B402	C400,C700
中教室	A401,A408,A501, A703,A705	B405,B500	C500,C502
小教室	A300,A301,A303, A400,A404,A407, A500,A504,A506, A507,A508,A509, A605,A607,A702, A704,A706,A708,A709	B301,B400,B401,B403, B501,B502,B503,B504, B505,B507,B607,B609	C401,C402,C403, C501,C701, C702,C703

※図書館棟AB教室にも設置されています。

 : ミニプラグ（3極）はあるが、マイクがないため、別途マイクが必要（教室内スピーカーあり）

ミニプラグ（3極）が設置されていない教室

主に、ゼミ教室や語学教室など
20-30名程度の部屋

情報実習室
CALL教室など

A館	B館	C館	その他
A405,A406,A505, A601,A701	B601~B606, B608,B610	C503,C505, C600~C611, C705	C館講堂（RCA端子） 情報実習室 CALL教室（※PC出力のみ）

■ : ミニプラグ（3極）とマイクの両方がない（教室内スピーカーあり）

推奨環境（B）

：Zoomを使用し，スピーカーフォンを使う場合

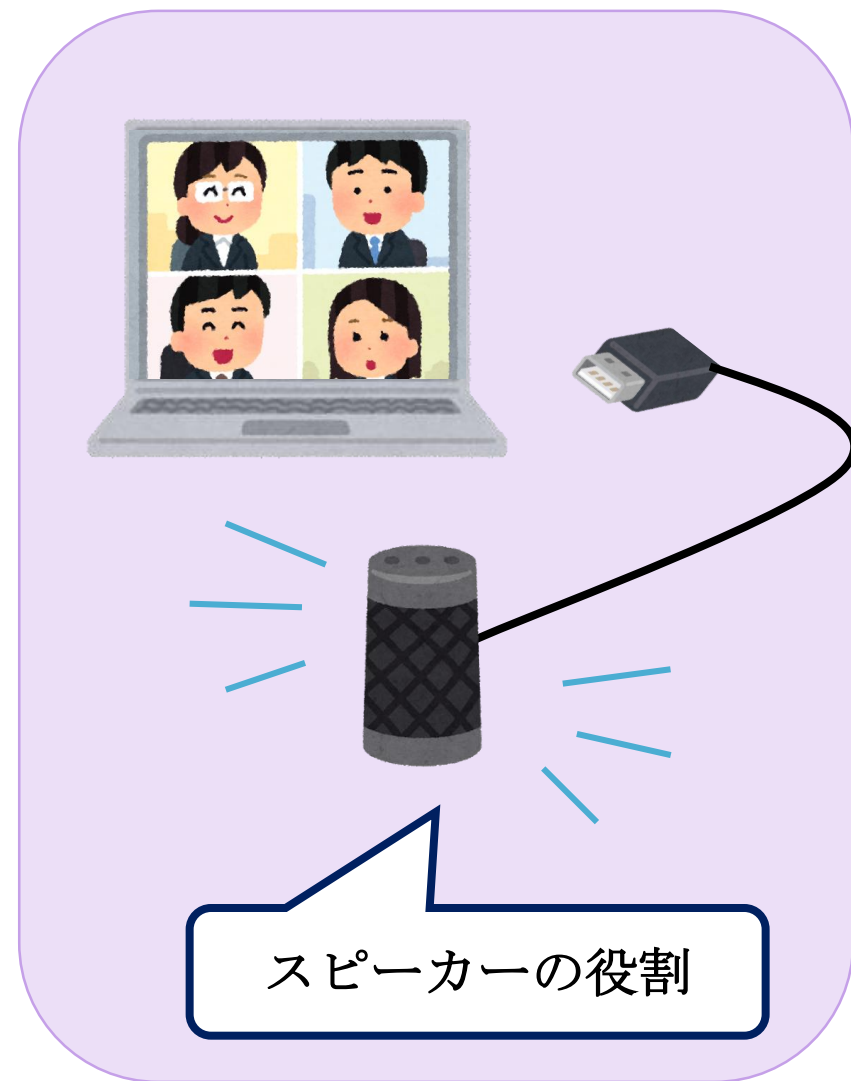


パソコンに外付けのマイクを接続することで，多人数の音声を拾うことが可能

	スライド使用		黒板使用	
	講義形式	ゼミ形式	講義形式	ゼミ形式
小規模教室	△	◎	△	△
中規模教室	△	△	△	△
大規模教室	×	×	×	×

※Zoomを使用するディスカッション形式、あるいはグループワーク形式の授業に適しています。

推奨環境（B）：PCにスピーカーフォンを接続して使用

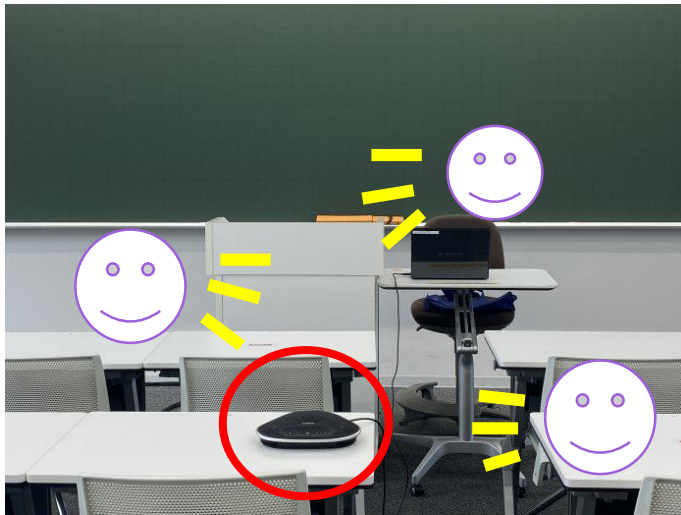


推奨環境（B）：本学で用意しているスピーカーフォン



（1）中規模用

ヤマハユニファイドコミュニケーションマイクスピーカーシステムYVC-330



（設置した様子）

ゼミなどの小さな教室で行う少人数の授業では、こちらで対応可能な場合が多いです。

推奨環境（B）：本学で用意しているスピーカーフォン

(2) 大規模用

ヤマハユニファイドコミュニケーションマイクスピーカーシステム YVC-1000

ヤマハYVC-1000用拡張マイク YVC-MIC1000EX



マイクスピーカー



拡張マイク

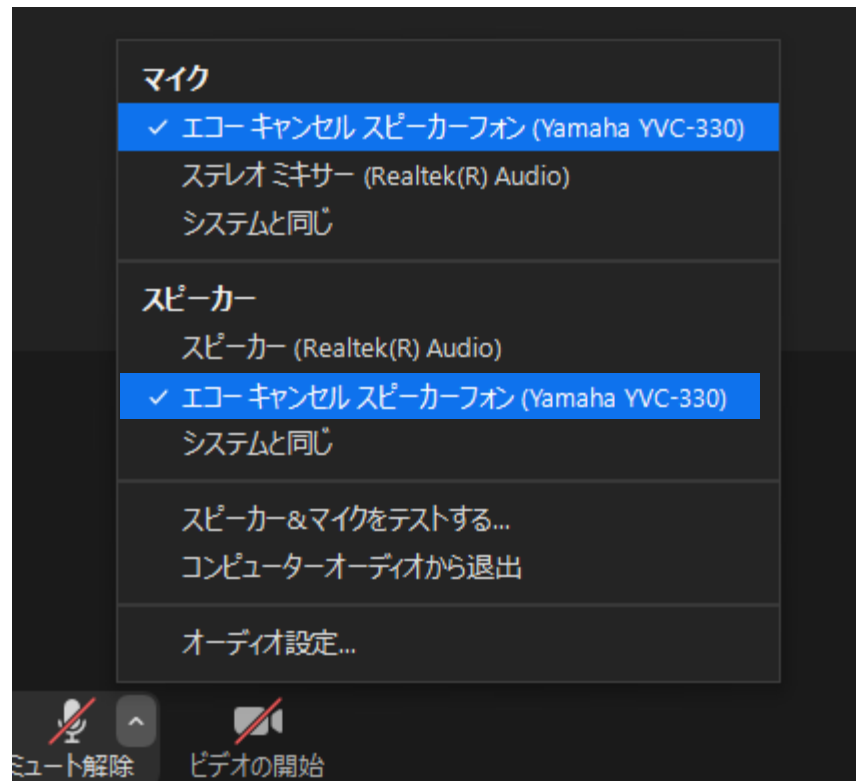


マイクスピーカー

- 拡張マイクを使用することで、広いエリアで行うグループワークに対応可能です。
- 拡張マイクは現在2個まで貸出可能です。
- 設置補助も行っています。

推奨環境 (B)

: Zoomの設定変更



マイク、スピーカー両方を
【スピーカーフォン】に
切り替えます

推奨環境 (C)

: Zoomと黒板を併用する
場合



対面授業をZoom配信する
場合、ウェブカメラ
を使用することで、黒
板等を写すこともでき
ます。同時進行で撮影
することも可能です。

	スライド使用		黒板使用	
	講義 形式	ゼミ 形式	講義 形式	ゼミ 形式
小規模 教室	○	×	△	×
中規模 教室	○	×	△	×
大規模 教室	○	×	△	×

推奨環境 (C) : ウェブカメラを外付けして黒板を映します



- 三脚にウェブカメラをセットし、PCに接続します。
- Zoomを開始し、ビデオの設定をウェブカメラに変更します。



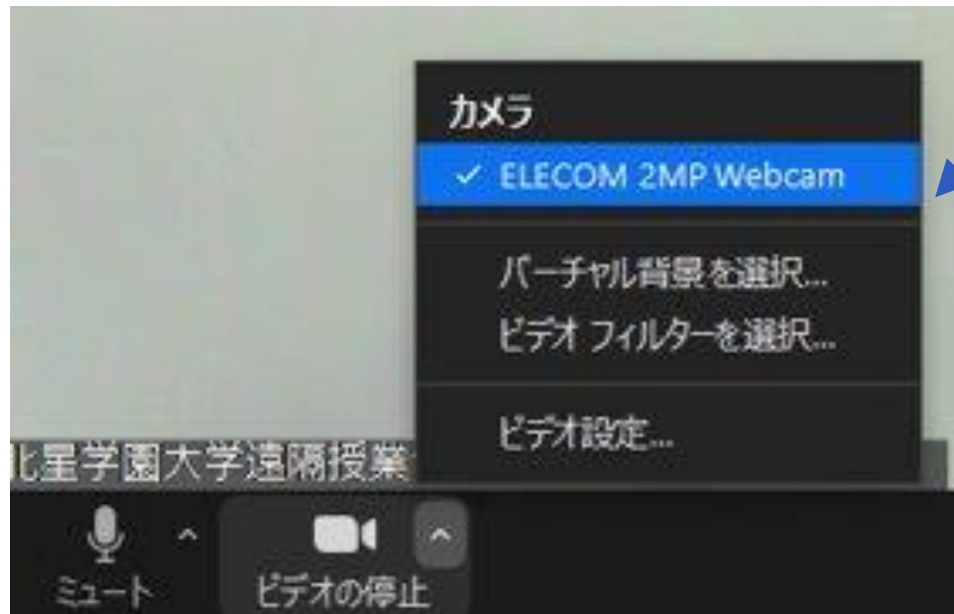
PCの内蔵カメラより
広範囲を映すことが可能です。

※ウェブカメラの性能によって
画質に違いがあるため
注意が必要です。



推奨環境 (C)

: Zoomの設定変更



カメラの設定をウェブカメラに切り替えます。
(カメラの機種によって表示名が異なります。)

Zoomのレコーディング機能を使用することで、授業動画を撮影することができます。

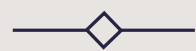
動画撮影について



1. ビデオカメラで撮影する

撮影から動画提供まで、
授業サポートプロジェクトチームのスタッフがお手伝いします

ビデオカメラで撮影する



黒板やホワイトボードなどを撮影する場合には、ビデオカメラによる撮影が適しています。

	スライド使用		黒板使用	
	講義形式	ゼミ形式	講義形式	ゼミ形式
小規模教室	△	×	◎	×
中規模教室	△	×	◎	×
大規模教室	△	×	◎	×

※ゼミ形式は複数人の音声を拾わないため推奨しません。

推奨環境（C）

：ビデオ撮影する場合（教員にビデオ用ワイヤレスマイクを装着して音声を収録）



用意するもの



ビデオ用
ワイヤレスマイク

ビデオカメラ

サポート内容

- 情報保障に関して以下の支援を実施
 - 利用可能な機材の貸し出し
 - 機材のセッティング
 - 授業の撮影や撮影した動画の提供
 - その他情報保障の方法に関する相談 など

※当日の依頼の場合、対応できないことがありますので事前にご相談ください。

※非常勤講師の依頼を優先的に対応いたします。

授業サポート申し込みフォーム22について

撮影支援や、機材貸出・設置補助の申込方法です。

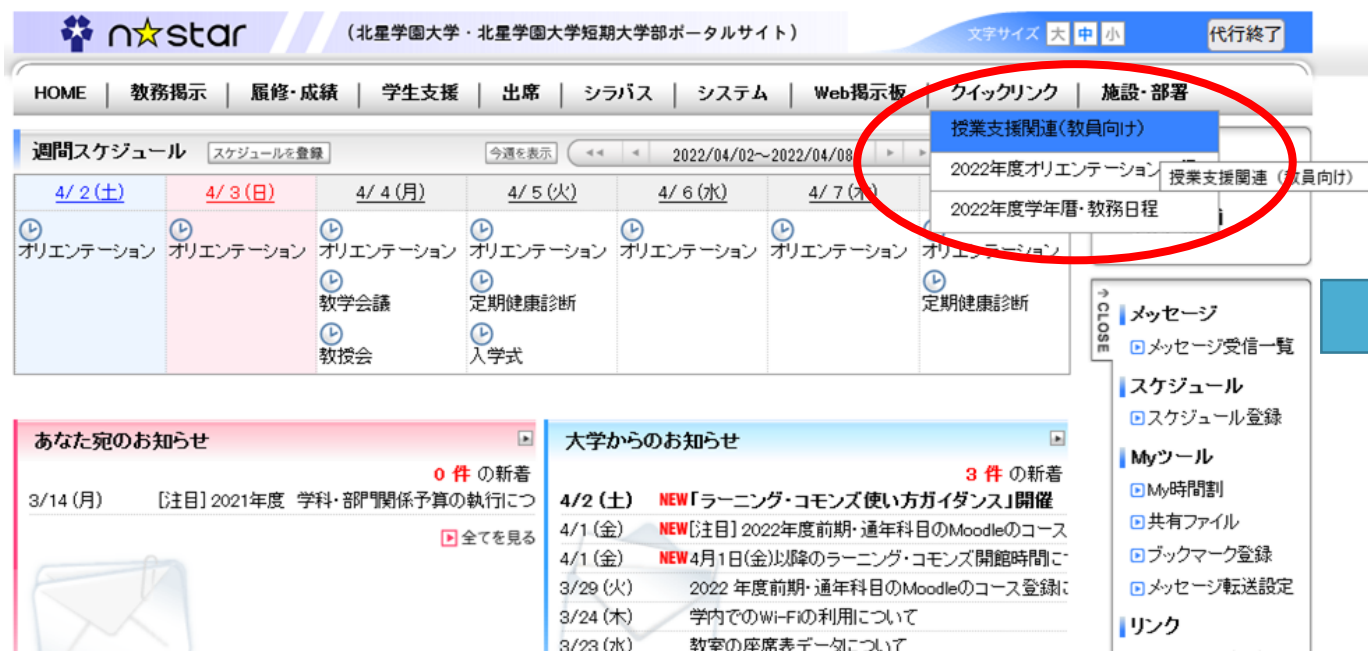
- ・ポータルサイトから遠隔授業関連（教員用）ページへ
ポータルサイト：<https://pota.hokusei.ac.jp/campusweb/top.do>
- ・授業サポート相談フォームのURLへ

■【授業サポートプロジェクトチーム】

授業の欠席者に対する情報保障や遠隔授業等の支援を行うプロジェクトチームが2022年4月から発足しました。個別のご相談やご質問等は下記にお寄せください。

◆北星学園大学 授業サポートプロジェクトチーム
e-mail: enkakuspt@hokusei.ac.jp

◆授業サポート相談フォーム <https://forms.office.com/r/wWbEJReZhf>



The screenshot shows the nstar portal interface. The top navigation bar includes 'HOME', '教務掲示', '履修・成績', '学生支援', '出席', 'シラバス', 'システム', 'Web掲示板', 'クイックリンク', and '施設・部署'. The 'クイックリンク' dropdown menu is open, and '授業支援関連(教員向け)' is highlighted with a red circle. Below the menu, there is a '週間スケジュール' section with a table of events for the week of 2022/04/02 to 2022/04/08. The table shows events like 'オリエンテーション', '教学会議', '教授会', '定期健康診断', and '入学式'. At the bottom, there are sections for 'あなた宛のお知らせ' and '大学からのお知らせ'.



The screenshot shows the HOKUSEI CGW website. The left sidebar contains navigation links like '検索', '休講・補講教室変更', 'キャンパススケジュール', '時間割', '履修登録Web', and '大学サイト'. The main content area features a '【更新情報】' section with news items. Below that, the '【授業サポートプロジェクトチーム】' section is highlighted with a red circle, containing the same contact information as the top-right box: '北星学園大学 授業サポートプロジェクトチーム', 'e-mail: enkakuspt@hokusei.ac.jp', and '授業サポート相談フォーム <https://forms.office.com/r/wWbEJReZhf>'. A QR code is also present.

授業サポート申し込みフォーム22

授業サポートプロジェクトチームでは、希望する先生の授業の情報保障についてのサポートをボランティアで行います。相談やサポートをご希望の先生は、本フォームでお申し込みください。回答は1~2日程度でメールでお送りします。なお、申し込みが多い場合は回答までに時間がかかることもあります。

サポートはできるだけ事前にお申し込みください。ただし、当日でも空き状況に応じて対応可能です。チーム本部までご相談ください。

<お問い合わせ先>

授業サポートプロジェクトチーム本部：C館6階 C604教室
お急ぎの場合は内線4691、4692、4693までお電話でご連絡ください。
※曜日や時間帯によって閉室している場合があります。その場合は教育支援課にご連絡ください。

■■■■@hokusei.ac.jp さん、このフォームを送信すると、所有者にあなたの名前とメールアドレスが送信されます。

* 必須

1. 氏名を入力してください *

北星 太朗

2. 所属を選択してください *

- 文学部
- 経済学部
- 社会福祉学部
- 短期大学部
- 非常勤講師

3. 希望するサポートを選択してください *

- 特定の授業のサポート（機材貸し出しやスタッフによる授業補助など）
- 質問や相談

次へ

1. 氏名
2. 所属
3. 希望するサポートを入力
 - ・ 授業のサポート
 - ・ 質問や相談

4. 授業科目名
5. 曜日・講時・教室名
6. 日付
7. 希望するサポート内容を入力
 - ・ 機材の貸し出しのみ
 - ・ スタッフによる授業補助のみ
 - ・ 機材貸し出しと
スタッフによる授業補助の両方

授業サポート申し込みフォーム21

* 必須

サポートする授業について

4. サポートを希望する授業科目名を入力してください *

〇〇演習

5. その授業が実施されている(a)曜日、(b)講時、(c)教室名を入力してください *

〇曜日〇講 C604

6. サポートを希望する日付を入力してください *

9/9 (木)

7. 希望するサポートの内容を選択してください *

例：

(1) 授業の録画を依頼したい場合：「機材貸し出しとスタッフによる授業補助の両方」を選択し、機材に「ビデオと三脚」と記入しサポートで「機材の設置・撤収」「授業の録画」を選択。

(2) 授業の録画のための機材は教育支援課で借りてくる。あるいは個人所有のものを使うが、撮影の補助をして欲しい場合：「スタッフによる授業補助のみ」を選択し、サポートで「授業の録画」を選択。

- 機材の貸し出しのみ
- スタッフによる授業補助のみ
- 機材貸し出しとスタッフによる授業補助の両方

戻る

次へ

貸出のみ

授業サポート申し込みフォーム21

* 必須

機材の貸し出し

<貸し出し可能な機材> (4/21現在)

授業の録画

- ビデオカメラ+三脚 (4台)
- 外部ワイヤレスマイク (3台、胸につけて授業をすると、ビデオカメラに講師の声をはっきりと録音できる)

ハイフレックス型授業

- スピーカーフォン犬 (Yamaha YVS-1000 + 拡張マイク、1台)
- YVS-1000用追加拡張マイク (1台)
- スピーカーフォン中 (Yamaha YVS-330) (3台)
- ウェブカメラ (2台)
- 片耳ヘッドセット (有線1台、Jabra Talk無線4台)
- 両耳ヘッドセット (有線)

その他

- ノートパソコン (Windows、2台。これまで通り教育支援課でもPCを借りられます)
- iPad (1台)
- iPadスタンド (1台)
- USB-LAN変換ケーブル
- その他各種ケーブル (ご相談ください)

8. 貸し出しを希望する機材を具体的に記入してください *

スピーカーフォン中

戻る 送信

貸出を希望する機材を入力
例) スピーカーフォン中

授業補助のみ

授業サポート申し込みフォーム21

* 必須

スタッフによる授業補助

8. 希望する具体的なサポートを選択してください *

パソコンの操作の補助を依頼する場合は、その他欄にOS (Windows, macなど) を記入してください

- 機材 (ビデオカメラ、AV機器、パソコン等) の設置・撤収の補助
- 機材 (ビデオカメラ、AV機器、パソコン等) の操作の補助
- ビデオカメラによる授業の録画 (音声チェック、録画開始・終了のみ)
- Zoom等の操作補助
- 録画した動画データの編集 (前後のトリミングなど簡単なもののみ)
- 動画データ等の配信補助
- その他

戻る 送信

希望するサポート内容を選択
例) 機材の設置補助
操作補助など

貸出と授業補助の両方

貸出を希望する機材と
希望するサポート内容の選択
の両方を入力

例) 撮影機材全般の貸出
授業の録画依頼

入力後、
受付完了メールが送信されます。
サポートチームが内容を確認後、
詳細についてご連絡いたします。

－ 撮影からデータ公開までの手順 －

① 授業サポート申込フォーム22での撮影依頼

② 撮影に関する事前打ち合わせ（初回のみ）

③ 授業の撮影

④ 録画データにアクセス可能なURLをメール送付

※授業サポートプロジェクトチームが担当

⑤ URLをクリックして動画をダウンロード

⑥ 各教員のOneDrive領域に動画アップロード

⑦ 各科目のMoodle授業ページにOneDriveの共有リンクを提示

問合せ先

遠隔授業に関する相談も随時受け付けています。
下記のメールアドレスにお寄せください。

授業サポートプロジェクトチーム

メールアドレス：enkakuspt@hokusei.ac.jp

申込みフォーム：<https://forms.office.com/r/wWbEJReZhf>

遠隔授業関連ページ（教員向け）

：https://cgw.hokusei.ac.jp/ipc/enkaku_kyoin/

質疑応答

